

令和5年度（2023年度）

目黒区エコプラザ指定管理
事業報告書及び決算報告書

エコライフめぐろ推進協会

令和5年度（2023年度）事業報告書・決算報告書 目次

○目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会意見に対する改善策等について	1
○令和5年度目黒区エコプラザ指定管理事業計画体系図	3
○令和5年度目黒区エコプラザ指定管理事業報告	
1 条例第3条1号事業：講座講習会等を実施すること	4
2 条例第3条2号事業：資料を収集し、利用に供すること	7
3 条例第3条3号事業：不用物品を再生すること	11
4 条例第3条4号事業：不用物品の販売又は交換の場を提供すること	14
5 条例第3条5号事業：環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を 育成すること	16
6 条例第3条6号事業：エコプラザの施設を利用に供すること	16
7 条例第3条7号事業：区長が必要があると認める事業	16
○目黒区エコプラザ利用実績表	19
○令和5年度 目黒区エコプラザ指定管理者事業収支決算書	20

目黒区エコプラザ指定管理者運営評価
委員会意見に対する改善策等について

1 事業の実施に関する事項

No	内容	改善策 (方向性)
1	コロナ禍における社会情勢の変化を踏まえながら、環境団体の支援や環境推進員養成のあり方について、従来の固定観念にとらわれることなく、創意工夫により新たな取組にチャレンジしてほしい。	環境保全活動団体への支援については、各団体の現状を踏まえ、どのような支援を必要としているのかを検討する。また、環境推進員養成については、講座内容や対象、進め方など創意工夫していく。
2	西部地区の区民にもエコプラザに関心を持ってもらい、足を運んでもらうきっかけづくりのためにも、コロナ禍での経験を活かし、オンラインと対面を連動させた取組を検討されたい。	西部地区等へは出前講座などを行っていく。HPの充実によりエコプラザの周知を図るとともに、プラザ事業の Web 公開等裾野を広げる効果的な内容や取り組みについて検討していく。
3	資源回収や不用品情報の提供について、運営の効率化を図りつつ継続してほしい。	情報の周知や提供については、環境整備・予算及び人員なども含め、効率的な運営を検討していく。

2 管理運営に関する事項

No	内容	改善策 (方向性)
1	コロナ感染予防対策で得られたメリットは継続しつつ、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、事業運営を安定的に継続してほしい。	コロナ感染予防対策で得られたノウハウを活かし、環境講演会やエコまつりなどの事業を安定的に実施していく。
2	若い世代の環境活動への参加を推進するため、事業や講座の運営に関われるような仕組みづくりを進めてほしい。	学生等の若年層が興味を持てるような企画について調査するとともに、SNS など活用したコミュニケーションに注力していく。

3 その他

No	内容	改善策 (方向性)
1	リサイクルショップの入口にある理念の掲示方法を工夫してほしい。	この掲示は循環型社会を目指し、リサイクル活動の拠点としてのリサイクルショップの理念を示したものである。プラザ来館者やショップを利用する方々に、理念を目に留めていただける様に掲示方法等を検討する。

3 目黒区エコプラザの職員態勢等

(1) 職員態勢

エコプラザ館長	1 名
契約職員	5 名 (内主任 2 名)

- * 窓口職員 2 名及びリサイクルショップの管理担当 1 名は常時配置するように努め、来訪者サービスの向上を図った。
- * 緊急連絡態勢については、事務局本部を含め職員間の緊急連絡網を定め、緊急事態等に対応する態勢を整えている。

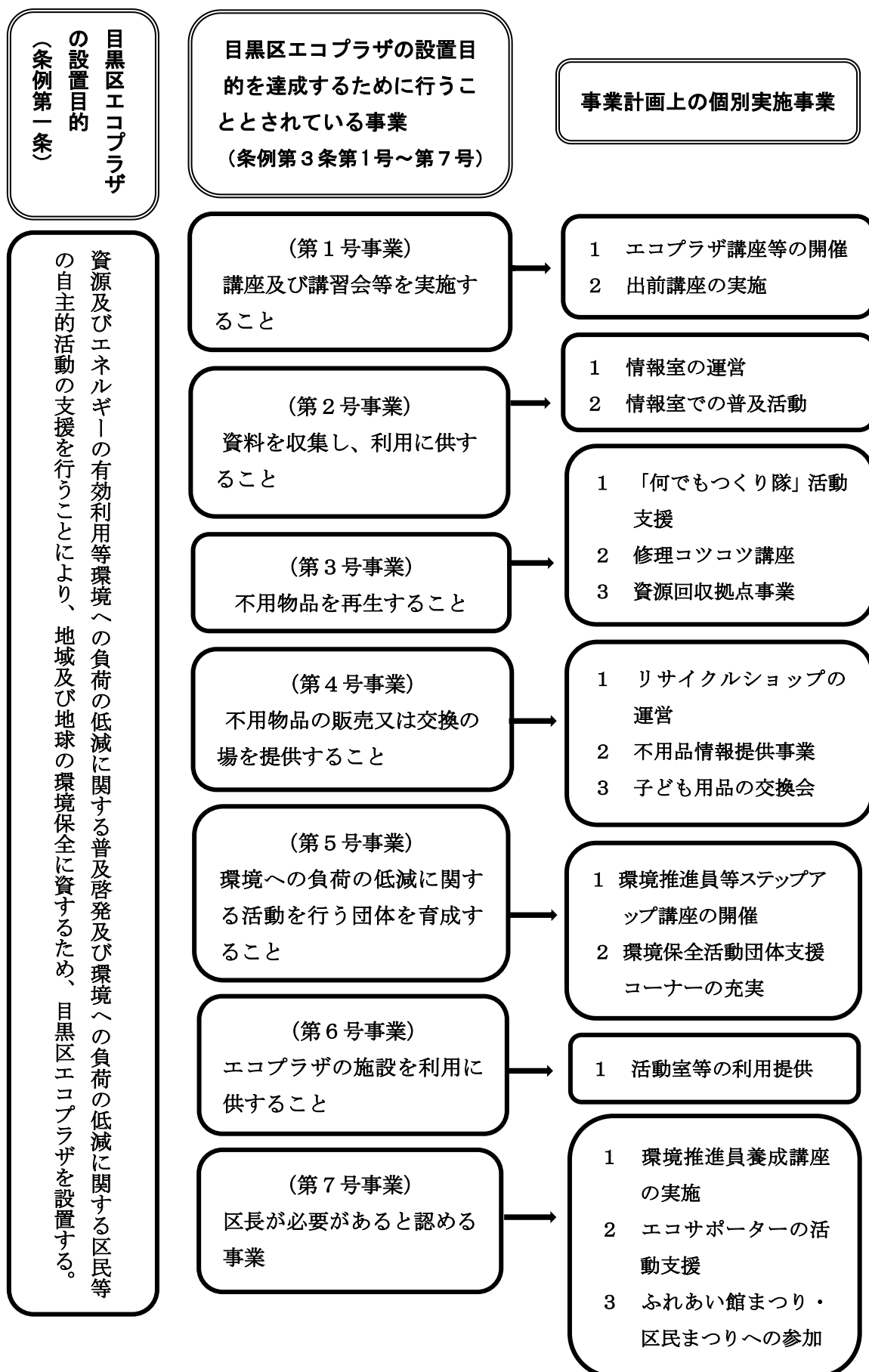
(2) 職員研修

研修名	エコプロ 2023 の見学
開催日	令和 5 年 12 月 6 日 (水) から 12 月 8 日 (金) まで
開催場所	東京ビックサイト
参加者等	職員 7 名 (内エコプラザ職員 3 名)
内容	「SDGs Week EXPO 2023」を総称としたエコプロ 2023 の視察を行い、カーボンニュートラル・各素材の再資源化や各企業の取り組み状況など、目黒区エコプラザの事業運営の参考とした。

研修名	めぐろエコサミット in 2023
主催	めぐろ環境マネジメントシステム研究会
開催日	令和 5 年 10 月 3 日 (火)
開催場所	中目黒G Tプラザホール
参加者等	職員 7 名 (内エコプラザ職員 1 名)
内容	「アップサイクルを知る・楽しむ」と銘打ち、日本エコロジーアップサイクル協会理事長の講演とワークショップでキーホルダーづくりに参加し、アップサイクルについての理解を深めた。

研修名	新目黒清掃工場の見学
開催日	令和 5 年 10 月 7 日 (土)・10 月 17 日 (火)
開催場所	目黒清掃工場
参加者等	職員 13 名 (内エコプラザ職員 6 名)
内容	令和 5 年 3 月 15 日に竣工した目黒清掃工場の見学会が令和 5 年秋から始まった。その見学会に協会として申込み、協会職員・ボランティア・エコサポーター等が参加し、清掃工場の理解を深めた。

令和5年度目黒区エコプラザ指定管理事業計画体系図



令和5年度（2023年度）目黒区エコプラザ指定管理者事業報告

1 条例第3条第1号事業：講座講習会等を実施すること

(1) エコプラザ講座等の開催

ア「自然エネルギーを体感しよう」

実施日	11月12日(日) 10:00～15:00	主な経費及び参加費
会場	「エコまつり・めぐろ2023」田道広場公園	
参加者数	約350人	委託費 100千円 参加費 —
講師等	NPO法人 ソフトエネルギープロジェクト	
概要	「エコまつり・めぐろ2023」の中で、自然エネルギー(再生可能エネルギー)の啓発としてソーラーカーの試乗や手回し発電で動くNゲージの体験を実施した。午前中は雨の影響で室内へ移動してNゲージとソーラーグッズの体験のみの実施となったが、午後からは天気も回復しソーラーカーの試乗もでき多くの方に自然エネルギーの力を体感して貰うことができた。	

イ 親子ふれあい自然体験 in ふなばし三番瀬海浜公園

実施日	3月27日(水) 8:30～16:30	主な経費及び参加費
会場	ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館	
参加者数	28名(大人12人 子ども16人)	使用料及び貸借料 128千円 参加費収入 28千円
講師等	ふなばし三番瀬環境学習館職員	
概要	東京湾の最北に位置するふなばし三番瀬海浜公園でビーチコーミングや生き物観察をすることで、海で起きている環境問題について考え・学ぶきっかけとした。午後からは三番瀬環境学習館を見学し、三番瀬の歴史や生息する生き物について学んだ。	



イ 親子ふれあい自然体験 in ふなばし三番瀬海浜公園

ウ DIY 子ども工作教室

実施日	7月15日(土) 13:30~15:30	主な経費及び参加費
会場	田道住区第2・第3会議室	
参加者数	19人	消耗品費 8千円 諸謝金 無料 参加費収入 4千円
講師等	一般社団法人日本DIY・ホームセンター協会	
概要	小学生に道具の大切さや手作りすることの良さに慣れ親しんでもらうことを目的として開催した。講師による的確な工具の扱い方の指導により、楽しみながら安全に工作に取り組むことができ、もの作りへの興味や理解を深めてもらうことができた。	

(2) 出前講座（学校・児童館等）の実施

ア 小学校への出前講座

概要	ごみ・リサイクルについて授業で学ぶタイミングとなる小学校4年生を対象に出前講座を行っている。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の流行により、依頼が減少している。小学校4年生対象の出前講座は二校のみとなったが、協会が独自に作成している冊子「めぐろeco エコ大作戦」を配布の希望を募り、碑小学校など9校からの希望に応えた。また、エコプラザの見学・取材等を目的とした保育園・高校生・大学生の受入れを行った。	主な経費
		印刷製本費 252千円

(ア) 小学校4年生対象出前講座

実施月日	小学校名	参加人数
7月7日(金)	田道小学校	52人
9月21日(木)	下目黒小学校	90人

(イ) 目黒区エコプラザの見学等

実施月日	小学校名	内容	参加人数
11月16日(木)	高知商業高等学校	見学	3人
11月28日(火)	日本女子大学校	取材	1人
12月6日(水)	祐天寺ナーサリー保育園	見学	9人

(ウ) 「めぐろecoエコ大作戦」配布

小学校名	配布数	小学校名	配布数
碑小学校4年生	100	上目黒小学校4年生	54
油面小学校4年生	93	東根小学校4年生	122
向原小学校4年生	50	東山小学校4年生	160
田道小学校4年生	55	下目黒小学校4年生	90
駒場小学校4年生	61	東根学童保育クラブ	30

イ 児童館への出前講座

概 要	子育てをする中で楽しくエコライフが送れるよう、児童館等に出向き、きっかけづくりのための講座を実施した。また、エコプラザへの来館者の増加につながるよう、エコプラザPRも出前講座の中で行った。その際のアンケートでは、「目黒区エコプラザを知らなかった」という方が多数おり、エコプラザPRの有効な機会にもなった。	主な経費
		—

参加者計**61**人

	実施日	施設名等	事業名等	対象	内容	参加人数
1	6月20日 (火)	東山児童館	乳幼児の つどい	1歳～5歳児と 保護者	エコ工作「お 散歩ワンちゃん」	2組6人
2	7月22日 (土)	油面住区センター児童館	乳幼児の つどい	2歳～3歳児と 保護者・小学生	エコ工作「ラ ケット」	1組2人小 学生5人
3	9月8日 (金)	五本木住区センター児童館	乳幼児の つどい	0歳～5歳児と 保護者	バスボム作り	1組1人 小学生1人
4	10月10日 (火)	平町児童館	乳幼児の つどい	1歳～2歳児と 保護者	エコ工作「カ タカタカスタ ネット」	5組 12人
5	12月1日 (金)	平町児童館	乳幼児ク ラブ	2歳～3歳児と 保護者	資源とごみの 分け分けゲー ム	3組6人
6	1月31日 (水)	向原住区センター児童館	乳幼児ク ラブ	0歳～3歳児と 保護者	エコ工作「ケ ロケロかえ る」	3組7人
7	2月6日 (火)	八雲住区センター児童館	乳幼児の つどい	0歳～3歳児 と保護者	バスボム作り	5組11人
8	3月14日 (木)	区民センター 児童館	乳幼児の つどい	2歳以上の幼 児と保護者	エコ工作「箱 カメラ」	2組4人 小学生6人



田道小学校4年生
「めぐろecoエコ大作戦」の様子



児童館への出前講座「エコ工作」

ウ 学童保育クラブへの出前講座

概 要	夏休み等学校の長期休業期間中の「学童保育クラブ」に向けて出前講座の案内を61か所に送付。希望に応じて2か所で出前講座を実施した。	主な経費
		—

	実施日	学童保育名	内容	参加者数
1	8月22日(火)	烏森第二学童保育クラブ	バスボム作り	17人
2	11月24日(金)	東根学童保育クラブ	資源とごみの分け分けゲーム	24人

エ その他の出前講座

	子育て交流ひろば0123
実施日	10月19日(木) 10:00～14:00
会場	中小企業センター第一集会室
参加者数	260人
内容	「エコおもちゃであそぼう」
概 要	0歳から3歳児の親子を対象に、子育てグループが情報提供の場として開催しているイベント。目黒区エコプラザは、紙パックや段ボールを使ったおもちゃで遊べるコーナーを担当。利用している親子に向けて、目黒区エコプラザの紹介とxChange～子ども服の交換会からのPRを行った。

	東部ふれあいフェスティバル
実施日	11月19日(日) 13:00～15:00
会場	こぶしえん
参加者数	135人
内容	「目黒区エコプラザの紹介」「毛糸 de ボランティアが作成したクッションの紹介」
概 要	東部地区にある施設や町会・団体等が区民に向け活動や取り組みを紹介し、エコプラザを知って活用して貰うことを目的で実施。エコプラザの紹介及び毛糸deボランティアのひざ掛け・クッション等を紹介した。



子育て交流ひろば0123の様子



東部ふれあいフェスティバル

2 条例第3条第2号事業：資料を収集し、利用に供すること

(1) 情報室の運営

概要	情報室を利用される方の年齢層や季節に応じて、エコライフに関する情報のパネル展示、ミニ講座、ちらしの配布などを行い、利用の促進を図った。	主な経費
		印刷製本費 257 千円 消耗品費 155 千円

ア 情報室におけるエコライフに関する情報の提供

ごみの分別方法、重曹・クエン酸を使った環境にやさしい掃除方法、エコプラザのPRちらし等を配布すると共に、緑のカーテン普及のために、次のとおり種の配布等を行った。

事業名	実施期間等	内 容
緑のカーテンを育てよう！	4月13日(木)～ 5月12日(金)	へちまと、ふうせんかずらの種を配布。併せて、つる性植物を緑のカーテンとして育てる方法や、収穫できたへちまの実をスポンジに加工する方法について冊子を配布し、情報提供を行った。
牛乳パックで生ごみ堆肥づくり	通年	牛乳パックを使って手軽に生ごみ堆肥を作る方法を紹介したちらしを配布した。秋から春にかけての園芸や野菜作りに取り組んでもらうことで、ごみを減らし、環境にやさしい栽培方法を心がけてもらえるようになることがねらい。

イ 展示コーナーの設置

パネルや実物を活用した展示コーナーを設け、環境や3Rに関する情報提供、エコプラザで行っている事業の展示を行った。(詳細は9頁情報室の普及啓発にあり)

ウ 図書の提供

環境に関する図書・雑誌を充実させると共に、展示テーマと連動させ、配架を工夫した。

実施月	テーマ	内 容
4月 5月	夏に向けて緑のカーテンを育てよう！	へちまや、ふうせんかずらの種の配布と併せて、つる性植物を緑のカーテンとして育てる方法を学ぶことが出来る図書を紹介。
6月 7月	おうちのごみも分ければ資源になるよ！	6月の環境月間に、情報室内で「資源とごみの分け分けゲーム」を設置したのとあわせて、ごみと資源の関連図書を紹介。
8月 9月	夏！生きものを見つけよう！ 観察しよう！	夏休みに身近な場所でも、生きものを観察することを通して、自然に触れる機会をもってもらえるような図書を紹介。
10月 11月	秋から冬に楽しむおしゃれなリメイク♪	肌寒くなってくる季節の前に、暖かい衣類や衣類雑貨を自分でリメイクすることを提案する図書を紹介。
12月 1月	家族で楽しく作ってみよう 修繕しよう♪	年末年始に、家具や室内の修繕などに家族で取り組んでもらえるようにDIYに関する図書を紹介。
2月 3月	考えてみて！なくてはならない水のこと	桜の開花で目黒川が注目される時期を迎えるに、水の大切さや水に関わる環境問題について考えてもらえるような図書を紹介。

エ その他

事業名	内容
エコプラザだより	月 1 回発行の目黒区エコプラザの情報紙である。地区サービス事務所・住区センター・図書館・社会教育館等で掲示・配布を依頼。(毎月ポスター約 280 枚・チラシ約 800 部発行)
わくわくエコライフカレンダー	リサイクルショップの収益金を活用し、エコライフめぐろ推進協会の事業紹介などを兼ねたカレンダーを作成。来館者等に配布。(発行部数:1500 部)

(2) 情報室での普及啓発

概要	エコプラザを訪れた区民が気軽に学習し、成果を持ち帰れるよう、来場者層に合わせたミニ学習会(サロン・エコライフ)や展示を行った。	主な経費
		諸謝金 5 千円

ア 展示 (図書コーナー及び階段下展示コーナー)

実施月	テーマ	内 容
4 月 5 月	里山のくらしといきもの	・かつて循環型生活が営まれていた里山という環境と、その環境で繋がりあいバランスを保っていた生きものについて紹介し、近年の環境の変化により生きものが絶滅あるいは絶滅の危機にあることについても紹介した。
6 月	資源とごみの分け方出し方	・分別の仕方がわかりにくいものをクイズ形式で展示。 ・7月より製品プラスチックの回収が始まるため、分別の変更内容がわかりやすいよう実物等も使って紹介した。
7 月 8 月	・自由研究のヒントを見つけよう！ ・夏休み自由研究応援企画	・夏休み期間に合わせ、自由研究のヒントになる図書を紹介した。 ・「紙パックのリサイクル」「打ち水」「エコ工作レシピ配布」など、夏休みの自由研究のヒントの一例を紹介した。
9 月 10 月 11 月	食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず食品が捨てられていることです。	・食品ロスの現状を伝え、家庭内でもどのような考え方や工夫で食品ロス対策ができるか、具体的にレシピカードを配布する等、食に関する情報を提供した。
12 月	微生物の力で春に向けて土づくり！	・めぐろスマートライフの“牛乳パックで堆肥作りに挑戦！”を微生物の力として紹介し、土の見える牛乳パックを展示。またエコ布植木鉢の作り方を春への準備として展示紹介した。
1 月 2 月	いきものたちの「食う→食われる」関係	・海や森、街に生きる野生動物が、どのような「食う→食われる」の関係(食物連鎖)があるのかパネル展示を行った。
3 月	・きれいな海は街から ・どうして目黒川は汚いの？	・今海で何が起きているか？ ふなばし三番瀬海浜公園の砂に混ざるマイクロプラスチックの実物を展示するなど、海洋汚染の現状を知り、防ぐためには何が出来るかを考えてもらった。 ・目黒川はなぜ悪臭が発生するのか？その理由と悪臭を防ぐための対策を提案した。

イ サロン・エコライフ

講座名	実施日	内容	参加人数
資源とごみの分け分けゲーム	6月5日(月)～ 6月13日(火)	ごみのサンプルを「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源」に分けて正解、不正解を音で知らせるゲーム。6月の環境月間に合わせ、7月から目黒区の製品プラスチックの資源回収が始まるのでその周知も行い、分別、ごみの減量、資源リサイクルの普及啓発を楽しく行った。	30人
「紙パック de 紙すき体験」	8月2日(水)	夏休みの自由研究の応援企画として、紙パックを使った紙すきでハガキを作る体験講座を行った。また、東京大学環境三四郎に紙パックのリサイクルの説明を実施した。	68人
綿くりワークショップ	8月8日(火)	種取りをした綿がつむがれて糸になり、織られて布となり、さらに衣類として仕立てられるまでの理解を深めてもらうことを目的に開催した。	22人
「身近なものでリース作りを楽しもう」	12月2日(土)	トイレトペーパーの芯・包装紙・毛糸等、身近にある不用品を用い飾って楽しいリース作りを行った。	17人

ウ その他（図書コーナーの活用・窓口での普及啓発）

エコおもちゃ設置	通年	紙パック等で作成したエコおもちゃや段ボールで遊べるコーナーを設置した。
夏休み向け図書紹介	7月28日(金)～ 8月31日(木)	夏休みの自由研究向けの図書をテーマごとに展示し、調べ学習のサポートを行った。
打ち水大作戦 in 田道ふれあい館	① 8月8日(火) ② 8月26日(土)	夏のヒートアイランド対策の啓発として「何でもつくり隊小物作り」や「高齢者センター納涼祭」に合わせて打ち水を実施し、多くの方に参加いただけた。(参加者 ①40人 ②43人)
服育クロスワード	10月21日(土)～ 1月11日(木)	服の一生を見てみよう(購入編・リサイクル編)のクロスワードをA1サイズに拡大し答えを貼ってはがして遊べるように設置した。
海を汚している行動はどれですか？	3月8日(金)～ 継続中	イラストの中から海を汚している行動を探しだし、×マークをつけて遊ぶゲーム。親子で環境について考えて貰いたいので、エコおもちゃを置いているコーナーに設置した。
新着図書紹介	3月28日(木)～ 継続中	新しく入った図書を紹介した。

3 条例第3条3号事業：不用物品を再生すること

(1) 何でもつくり隊

事業名	何でもつくり隊	主な経費
概要	古着・古布・残り毛糸等を使った物づくりの講座を定期的にエコプラザ活動室で開催した。 各講座の運営に協力している活動団体や講座の参加者が、それぞれの地域などで活動を広められるよう、協会が支援する人材育成の場としての事業である。	—

ア 定例開催

参加者計 790 人

講座名	実施日	内容	参加人数
毛糸 de ボランティア	毎月第 1 火曜日 13:30～15:30	残り毛糸を活用してひざ掛け等を作り、福祉施設等に寄付している。 寄贈先:こぶしえん(クッション 10 枚・ひざ掛け 10 枚) 田道小規模多機能(クッション 15 枚・ひざ掛け 15 枚) 中央の家(クッション 20 枚・ひざ掛け 20 枚) 東京都写真美術館(クッション 3 枚)	108 人
古布 de 小物作り	毎月第 2 火曜日 13:30～15:30	古布を活用して小物を作る。 協力団体:布で遊ぼう	189 人
古布でさき織り	毎月第 3 火曜日 13:00～15:30	古布を裂いて、織り機を使って作品を作る。 協力団体:布ぞうり・さき織りサークル	86 人
エコ布ぞうり	毎月第 4 火曜日 13:30～15:30	古布を活かして布ぞうりを編む。 協力団体:布ぞうり・さき織りサークル	100 人
つくりなおしカフェ	毎月第 1・4 木曜日 13:30～15:30	着物や Y シャツ等の素材を活かしながら普段に着られるものへリメイクするとともに、丁寧な暮らし方を考える。 協力団体:もめんむすび	307 人

イ 懇談会

講座名	実施日	内容	参加人数
「何でもつくり隊」懇談会	4 月 6 日(木) 10 時～正午	各団体の代表者が集まり、活動状況の報告と意見交換を行った。 ※団体の代表者から、各活動で余って活用しきれない材料があることが報告され、材料を無駄にしない試みとして「材料交換会」が提案された。	全4グループの各代表者

ウ 材料交換会

講座名	実施日	内容	参加団体数
「何でもつくり隊」材料交換会	8 月 31 日(木) 14 時～15 時	「何でもつくり隊」の各活動で余って活用しきれない材料を持ち寄ってもらい、グループ間で交換を行った。 ※後日、交換した材料を使って制作された作品は、各活動でお披露目された。	全4グループの各代表者



ひざ掛け寄贈の様子(目黒中央の家)



材料交換会の様子

(2) 修理コツコツ講座

ア 包丁研ぎ編

実施日	第1回 6月17日(土) 第2回 11月18日(土) 第3回 2月10日(土) 第1回から第3回共通 ①9:30～10:20 ②10:40～11:30 ③13:10～14:00 ④14:20～15:10	主な経費及び参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	諸謝金(各回) 20 千円
参加者数	第1回:43 人、第2回:41 人、第3回:44 人 計 128 人	通信運搬費(各回)4 千円
講師等	クラフトマングループ 4 人	参加費収入
概要	切れなくなった包丁の研ぎ方を習って自分で研いでみることで、物を大切にすること、長持ちさせることの大切さを実感できる機会を提供した。	第1回 12.9 千円 第2回 20.1 千円 第3回 22.2 千円

イ 網戸の張替え編

実施日	6月19日(月) 第1回 10:00～12:00 第2回 13:30～15:30	主な経費及び参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	
参加人数	第1回:15 人 第2回:14 人 計 29 人	通信運搬費
講師等	株式会社イノボックス 2名	6 千円
概要	家庭で修理することがあまりない網戸の修理技術を普及し、ものを修理して長く使うことを通じ、ごみ発生抑制の促進を図った。	材料費 14.5 千円 参加費収入 14.5 千円

ウ フローリングの補修編

実施日	2月21日(水) 10:00～12:00	主な経費及び参加費
会場	目黒区エコプラザ 活動室	
参加人数	15 人	諸謝金
講師等	DIY アドバイザー 吉村美紀 氏	20 千円
概要	フローリングのへこみなどの補修方法を学ぶ講座。小さな模型を使って様々な補修材や道具の使い方コツを教わり、家に帰ってから直ぐに実践できるよう一部の補修材は持ち帰ることができた。	通信運搬費 1.5 千円 参加費収入 15 千円



修理コツコツ講座～包丁研ぎ編～の様子



修理コツコツ講座～フローリングの補修編～の様子

(3) 資源回収事業

概 要	資源回収の普及啓発として、目黒区エコプラザに、廃食油、インクカートリッジ等の回収コーナーを設置し回収した。行政回収の対象にならない資源について、次のとおり、協会が独自に回収した。	主な経費
		負担金 11 千円

回収物	衣類	ペットボトル キャップ	廃食油	インクカートリッジ	使い捨てコンタクト レンズの空ケース
回収量	8,820kg	567kg	710ℓ	48.33kg	50.64kg
売却益	38,808 円	6,237 円			
再利用内容	再生事業者が古着として販売する。	再生事業者が資源化し、ごみ箱やスーパーのカゴ、ボールペン等になる。	再生事業者がバイオ燃料としてリサイクルする。	破砕・選別後に再生プラスチック化し、プラスチック製品等へ再利用される。	粉砕し、再生ポリプロピレン素材として、様々なリサイクル製品になる。

4 条例第 3 条第 4 号事業：不用物品の販売又は交換の場を提供すること

(1) 不用品情報提供事業

概要	家庭で不用になった品物を活かす方法として、「譲りたい方」と「欲しい方」を仲介する仕組みをシステム化し、エコプラザで情報を提供している。大型家具等の引取り、販売については、不用品情報の利用を案内した。 ※利用実績は、18 頁のとおり。	主な経費
		—

(2) リサイクルショップの運営

概要	区民等から寄付品を頂き販売した収益金でエコまつりや環境講演会など、区民へ還元する環境保全活動に活用をしている。ショップの運営は、主にボランティアにより行っている。 ※利用実績は 18 頁のとおり。	主な経費
		費用弁償 3,707 千円

ア リサイクルショップボランティア研修

概要	令和 5 年度は、新しく出来上がった目黒清掃工場の内覧会をボランティア研修とした。最新の工場内を見学することで、今まで知らなかった工場の仕組みや新しく出来た工場の仕組みを理解することができた。これによりいかにリデュースが大切なのかを学ぶことができ、リサイクルショップがある意味を考えることもできた。
----	---

イ リサイクルショップの着物セール

実施日	10 月 8 日(日)10:00～15:30	主な経費 当日の売り上げ ショップ兼着物セ ール 332 千円 おもちゃクジ 6 千円
来場人数	着物セール 約 200 人 おもちゃクジ 183 人	
概要	区民まつりに参加するにあたりショップボランティア及び当日ボランティアの協力により着物セールを開催した。当日は臨時開館でリサイクルショップもオープンし着物セールも含め多くのお客さまに足を運んでもらうことができた。またおもちゃクジもとても盛況であった。	

(3) 子ども用品の交換会

実施日時	春:4月17日(月)~4月22日(土) 10:00~15:00 秋:10月23日(月)~10月28日(土) 9:00~17:00	主な経費
実施場所	目黒区エコプラザ情報室	—
参加人数	春:50人 秋:121人	
概要	不用となった子ども服にエピソードタグをつけ交換を行う『xChange(エクスチェンジ)』を開催した。子ども服を選び、エピソードタグにメッセージをつけて持ち込むという作業を通して、その物に対する思い出や物の価値を見出し、物を大切する心を育てて貰うことが狙いである。持ち込まれた子ども服は小さいサイズが多かったため、これから出産を控える方には母子手帳の提示で持ち帰れるようにした。	



リサイクルショップ 着物セールの様子



xChange~子ども服の交換会~の様子

5 条例第3条第5号事業：環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を育成すること

(1) 環境推進員等ステップアップ講座&エコサポーター懇談会の開催

実施日	10月7日(土) 10:00~12:30	主な経費
実施場所	目黒清掃工場・目黒区エコプラザ活動室	—
概要	環境推進員養成講座を修了し、めぐろエコサポーター制度に登録している方に対し、環境保全活動の実践に役立つ知識をさらに深めることの出来る機会とすることを目的に開催している。今年度は、新しくなった目黒清掃工場の見学を実施した。(参加者6名)	

6 条例第3条第6号事業：エコプラザの施設を利用に供すること

(1) 活動室等の利用提供

事業名	活動室等の利用提供	主な経費
概要	エコプラザ登録団体が活動の場として利用するとともに、指定管理事業などの講座、講習会の会場とした。 また、広く一般の団体等に対しても活動の場として利用に供した。 ※利用実績は、18頁のとおり。	消耗品費 5千円

7 条例第3条第7号事業：区長が必要があると認める事業

(1) 環境推進員（エコサポーター）養成講座の開催

私たち一人ひとりの行動が、地球規模で起こっている環境問題に深く影響している。

自分にできる環境活動を始めるきっかけづくりのための講座を、過年度受講者による企画委員会で検討されたカリキュラムにより連続講座で実施した。

概要	地域で環境への負荷の軽減に関する活動を行う人材を育成することを目的として、養成講座等を実施した。 今期(14期)養成講座修了者7人には、当協会理事長名で修了証を授与された。修了者がめぐるエコサポーター登録し、翌年に環境保全活動を実践し、「環境推進員登録申請書」を提出すると、当協会から「環境推進員登録証」を交付する。 令和5年度末累計登録者 環境推進員 28 人、エコサポーター124 人	主な経費
		諸謝金 145 千円 費用弁償 108 千円 消耗品費 5 千円

ア 養成講座企画運営委員会

(人数は委員のみ)

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	4月22日(土)	講座の概要・目的・実施方法の確認、年間計画の確認、委員会の進め方について	4人
第2回	5月20日(土)	講座内容の検討、第14期のテーマ決定	4人
第3回	6月10日(土)	講座全6回の内容決定	4人
第4回	7月1日(土)	講座全6回の内容・日程・各回のテーマ決定 講座各回の役割分担の検討	4人
第5回	7月22日(土)	講座全6回の内容確認、講座各回の役割分担の決定 講座(第1回)の打合せ	4人

イ 環境推進員（エコサポーター）養成講座

(人数は受講者のみ)

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	9月9日(土)	オリエンテーション 目黒川舟入場での野鳥観察、目黒川ウォーキング 講座の目的・取り組み方・修了後等のガイダンス、講義： 「身近な目黒川の豊かさとそれを脅かすもの」(講師：新津紅氏)、お互いを紹介し合う他己紹介など	9人
第2回	9月30日(土)	映画「マイクロプラスチックストーリー」からごみ問題を考える 解説：環境カウンセラー 杉村悦子氏	10人
第3回	10月21日(土)	講義：「家庭で取り組む食品ロス対策」 講師：NPO法人コミュニティスクールまちデザイン理事長 近藤恵津子氏	7人
第4回	11月4日(土)	講義：「衣類から3Rを考える」 講師：環境カウンセラー 杉村悦子氏	7人
第5回	11月25日(土)	グループ討議：「さあ！仲間と始めよう！」	7人
第6回	12月9日(土)	グループ発表と意見交換、修了証授与、修了後の活動等の案内、修了生が立ち上げた活動団体の紹介など	6人

(2) エコサポーターの活動支援

環境推進員養成講座を受講しめぐるエコサポーター制度に登録した者に対し、講座・講習会の開催やボランティア募集等の情報提供、団体活動を行う際の相談、広報のための印刷機使用等の支援を行う。

ア めぐるエコサポーターへの情報提供

毎月1回と臨時号2回の年14回、講座やイベント等のお知らせメール(メールのない方には郵送)を行った。

イ めぐるエコサポーター専用ページの活用

エコライフめぐる推進協会ホームページ内のめぐるエコサポーター専用ページ(パスワード有)の編集及び管理を行った。

コーナー名	内容
めぐるエコサポーター通信 バックナンバー	めぐるエコサポーター通信創刊号から最新号までのバックナンバーを見ることが出来る。
今月のお知らせ	毎月メールや郵便で送っているお知らせの添付資料をホームページ上でも見ることが出来るようにした。
エコサポみんなの掲示板	エコサポーター同士が情報交換を出来る場として、ホームページ上に掲示板を作成、職員からもメッセージを定期的に入力し情報提供を行った。

ウ アンケートの実施

めぐるエコサポーターに往復はがきでアンケートを実施、連絡先の変更や情報提供の形態の変更希望調査を行った。

エ めぐるエコサポーター通信編集部会 (人数は編集部員のみ)

(ア) めぐるエコサポーター編集会議の開催

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	5月25日(木)	年間計画、役割分担、第13号の企画	4人
第2回	9月15日(金)	13号の発行について 14号の企画	3人
第3回	12月15日(金)	第14号の発行について 今後のスケジュールについて	3人
第4回	3月15日(金)	令和6年度に向けて	3人

(イ) めぐるエコサポーター通信の発行

発行号	発行日	内容
第13号	9月29日(金)	特集 ごみを減らそう「製品プラスチック資源回収が始まりました」 コラム 緑道を歩く
第14号	12月26日(火)	特集 エコまつり・めぐる2023 めぐるエコサポーター ステップアップ講座&交流会

(3) 「区民まつり」への参加

実施日	10月8日(日)	主な経費
会場	目黒区エコプラザ情報室・リサイクルショップ	費用弁償
概要	当日は、目黒区エコプラザとリサイクルショップの周知を目的として臨時開館し、目黒区エコプラザの図書コーナーとリサイクルショップを会場に、着物セールを開催した。 ※着物セールについては、リサイクルショップの着物セールを参照。	35千円

(4)「田道ふれあい館まつり」

実施日	1月20日(土)10時～15時	主な経費
会場	田道ふれあい館	—
参加人数	約240人	
概要	田道ふれあい館に入っている全施設(田道住区センター・高齢者センター・在宅ケア多機能センター・シルバー人材センター・目黒区エコプラザ)の共催。目黒区エコプラザは、「バスボム作り」と「みんなで作ろう護美(ごみ)アート」、「ソプラノコンサート」を実施した。	



区民まつり おもちゃくじの様子



田道ふれあい館まつり「みんなで作ろう護美アート」の様子

ボランティア参加状況一覧

延べ14人

事業実施月日	事業名	参加人数
6月20日(火)	子育てママのエコ入門(東山児童館)	1人
7月19日(水)	紙すきパルプづくり	1人
7月22日(土)	子育てママのエコ入門(油面住区センター児童館)	1人
8月2日(水)	サロン・エコライフ「紙パック de 紙すき体験」	3人
8月26日(土)	打ち水大作戦 in 田道ふれあい館	1人
9月22日(金)	xChangeの準備	1人
10月8日(日)	リサイクル着物セール	1人
10月8日(日)	おもちゃくじ	1人
1月20日(土)	田道ふれあい館まつり	1人
1月31日(水)	子育てママのエコ入門(向原住区センター児童館)	1人
3月14日(木)	子育てママのエコ入門(区民センター児童館)	2人

目黒区エコプラザ利用実績表

項 目		令和3年度(2021年度)実績		令和4年度(2022年度)実績		令和5年度(2023年度)実績	
		目黒区エコプラザ		目黒区エコプラザ		目黒区エコプラザ	
利用登録	新規登録者数	104名		94名		93名	
リサイクルショップ	受付点数	27,794点		31,177点		28,352点	
	販売点数	22,903点		26,157点		25,991点	
	販売金額	5,641,201円		7,573,425円		7,734,728円	
図書	新規図書等情報入力件数	42件		40件		40件	
	図書等貸出件数	230件		180件		134件	
不用品情報	不用品情報あげます登録件数	193件		294件		353件	
	不用品情報あっせん成立件数	42件		33件		24件	
活動室	団体登録件数 延利用回数 (午前・午後・夜間)	7件 延169回		4件 延263回		4件 延271回	

※ 利用登録数は、更新登録者も含む

令和5年度 目黒区エコプラザ受託事業 決算書

令和5年度				令和4年度				令和4年度5年度差額			
科 目	予算現額	決算額	残高	予算現額	決算額	残高	予算差額	決算差額	残高差額		
【事業収入】											
区受託事業収入 協会	27,000,000	27,000,000	0	27,000,000	27,000,000	0	0	0	0		
ショップ収益金充当	5,951,600	5,237,408	714,192	6,595,000	5,473,850	1,121,150	△ 643,400	△ 236,442	△ 406,958		
事業収入 計	32,951,600	32,237,408	714,192	33,595,000	32,473,850	1,121,150	△ 643,400	△ 236,442	△ 406,958		
【事業人件費】											
給与手当	16,663,200	15,856,116	807,084	16,764,000	16,021,459	742,541	△ 100,800	△ 165,343	64,543		
臨時雇賃金	240,000	233,988	6,012	240,000	226,440	13,560	0	7,548	△ 7,548		
賞与金	3,503,400	3,320,759	182,641	3,606,000	3,427,606	178,394	△ 102,600	△ 106,847	4,247		
福利厚生費	265,700	144,487	121,213	239,000	167,234	71,766	26,700	△ 22,747	49,447		
法定福利費	3,409,800	3,145,672	264,128	3,264,000	3,251,958	12,042	145,800	△ 106,286	252,086		
通勤手当	442,500	490,650	△ 48,150	643,000	442,480	200,520	△ 200,500	48,170	△ 248,670		
事業人件費 計	24,524,600	23,191,672	1,332,928	24,756,000	23,537,177	1,218,823	△ 231,400	△ 345,505	114,105		
【管理運営費】											
通信運搬費	180,000	212,454	△ 32,454	168,000	143,183	24,817	12,000	69,271	△ 57,271		
旅費交通費	25,000	22,476	2,524	22,000	23,196	△ 1,196	3,000	△ 720	3,720		
減価償却費	900,000	896,280	3,720	900,000	896,280	3,720	0	0	0		
修繕費	20,000	0	20,000	20,000	0	20,000	0	0	0		
使用料及び賃借料	180,000	177,128	2,872	180,000	175,424	4,576	0	1,704	△ 1,704		
手数料	100,000	95,115	4,885	100,000	91,345	8,655	0	3,770	△ 3,770		
委託費	252,000	288,108	△ 36,108	740,000	615,340	124,660	△ 488,000	△ 327,232	△ 160,768		
負担金			0	20,000	11,100	8,900	△ 20,000	△ 11,100	△ 8,900		
租税公課	1,000,000	1,134,100	△ 134,100	1,000,000	1,126,500	△ 126,500	0	7,600	△ 7,600		
管理運営費 計	2,657,000	2,825,661	△ 168,661	3,150,000	3,082,368	67,632	△ 493,000	△ 256,707	△ 236,293		
【事業費】											
消耗品費	421,000	320,099	100,901	439,000	357,212	81,788	△ 18,000	△ 37,113	19,113		
修繕費	30,000	25,000	5,000	30,000	0	30,000	0	25,000	△ 25,000		
印刷製本費	598,000	509,300	88,700	590,000	478,280	111,720	8,000	31,020	△ 23,020		
使用料及び賃借料	230,000	158,656	71,344	90,000	42,000	48,000	140,000	116,656	23,344		
委託費	100,000	100,000	0	120,000	100,000	20,000	△ 20,000	0	△ 20,000		
諸謝金	266,000	160,000	106,000	316,000	205,000	111,000	△ 50,000	△ 45,000	△ 5,000		
負担金	11,000	11,800	△ 800	11,000	11,000	0	0	800	△ 800		
会議費	45,000	1,500	43,500	40,000	4,549	35,451	5,000	△ 3,049	8,049		
費用弁償	4,089,000	3,817,250	271,750	4,053,000	3,583,500	469,500	36,000	233,750	△ 197,750		
事業運営費計	5,790,000	5,103,605	686,395	5,689,000	4,781,541	907,459	101,000	322,064	△ 221,064		
受託事業費支出 計	32,971,600	31,120,938	1,850,662	33,595,000	31,401,086	2,193,914	△ 623,400	△ 280,148	△ 343,252		
収支差額	△ 20,000	1,116,470	△ 1,136,470	0	1,072,764	△ 1,072,764	△ 20,000	43,706	△ 63,706		

* ショップ収益は令和5年度予算対比88%、令和4年度予算対比83%だった為、充当金の決算額も同率を乗じた。